



# 食育だより 7月号

一本木保育園 令和6年6月28日発行



梅雨が明けると夏本番となり、水遊びを楽しめる季節になりますね。暑い時期になるのでこまめに少量ずつの水分補給を心がけましょう。また、食欲が落ちやすい時期でもあるので、食事に具沢山の汁物を取り入れて、水分と塩分を十分に取って夏バテ予防に努めましょう。

## 子どもの好き嫌いについて

○甘味、うま味、塩味⇒



△酸味、苦味⇒



自然界の甘味はエネルギー、旨味はタンパク質、塩味はミネラル、酸味は腐敗、苦みは毒と本能的に認識されます。子どもは味蕾（味を感じる器官）が発達し、味に敏感なため、苦みや酸味を感じる野菜が苦手になります。また、人間は新しいものに恐れや不安を感じる事があり、初めての食品には怖さを感じることから、目新しい食品を口にしないこともあるようです。「おいしい」「食べられる」は経験で培われます。

## 環境編 好き嫌い・偏食・食べムラ 食事のお悩み解決法

### Q 偏食で困っています



- A**
- 親子で同じものを同じ量で、一緒にタイミングで食べてみる。  
例)「いっせーの！」パクッ！モグモグ…
  - 苦手なものでも食卓に並べてみる。
  - ごはん汁物を混ぜて食べる子には、「ごはん汁物をかわりばんこに食べて、口の中で混ぜて食べると美味しいよ！」と伝えてみる。

### Q 食べムラは、どうすればいい？

- A**
- 落ち着いて食事ができる環境を整えてみる。  
(テレビを消す、おもちゃを片付ける)
  - 成長する時期によって食べムラが強い時期もある。あえて、こだわり過ぎないようにする。  
(互いに気持ちの良い食事時間にするため)



### Q 好き嫌いを減らすには？



- A**
- 野菜をプランターや畑で育てて収穫を通して食の興味に繋げてみる。
  - 苦手な食べ物を触ってみる。匂いを嗅いでみるなど興味をもたせるところから始めてみる。
  - 小さく切って食べさせてみて、食べられた時にはたくさん褒める。少しずつ大きくしたり、量を増やしていきながら食べられた自信をもたせる。
  - 料理や配膳など食事の準備の手伝いをしてもらいながら、自分で作った喜び、人のために役に立った喜びを体験させていく。
  - 大人が美味しそうに食べる姿を見せて食べようとする気持ちを引き出してみる。
  - 「苦手だから残してもいい？」と子どもから話せる関係を作る。そして、「一口食べてみる？」と声をかけてみて食べられたらオーバーリアクションで褒めてみる。

**おいせ** 来月は第2弾として調理に関する内容(調理方法・レシピ等)を掲載する予定です。お楽しみに♪

### 冷たい物の食べ過ぎ・飲みすぎに注意

暑いとつい手が出てしまう冷たい物の摂りすぎは、おなかを冷やしてさまざまなトラブルを招きます。また、甘い飲み物には砂糖が多く含まれているので食欲不振や集中力の低下、疲れやすくなったりなどさまざまな悪影響があります。6月の食育タイムでも確認したように、水分補給は麦茶がおすすめです。喉が渇く前にゆっくりこまめに飲みましょう。

### 食中毒に注意！！

ジメジメとした蒸し暑い季節は、食中毒が発生しやすい時期です。弁当箱は、蓋のパッキンを外し、泡スプレーやブラシを使って四隅をしっかりと洗いましょう。洗った後は十分に乾かすことで、食中毒予防に繋がります。毎日使っている弁当箱や箸、箸箱、コップなど食具を清潔にしましょう！